

町田通勤寮だより

NO 48 2014年11月

東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

立冬を過ぎいよいよ冬本番を迎えましたが、「木枯らし1号」のニュースからはずいぶんと間があったように思います。長期予報は「暖冬」から「平年並み」になったようですが、今一つ季節感がズレているように感じるのは、私だけでしょうか。

さて、既にお知らせしていますように、町田通勤寮は平成28年4月からその運営が民間移譲されることとなります。これに必要な申請書提出の締切が今月の28日までと指定され、法人としてその提出準備を進めているところです。

この中では、法人としての理念はもとより、「町田通勤寮」として何をめざし、何を実践していくのか、ということの再確認が求められています。また、これまでの積み重ねを大事にしながらか、「現在のニーズ」にどう応えていくのか、という新たな取り組みも求められています。

「福祉とは『人』を対象とした事業」であり、スタッフの資質の向上と

チームワークがサービスの質を規定するといわれます。少人数のスタッフであるからこそ、一人一人の熱意を大切にしながら、「利用者の想いの実現に向けた支援」に取り組むことのできるチームづくりをさらに進めていくこと、また、通勤寮の基本的機能である「訓練」と「支援」のバランスにも十分配慮した取り組みを進めていくことを事業計画には盛り込んでいきたいと考えています。

いわゆる「発達障害」といわれる方の利用希望の増加、児童養護施設からの利用希望の増加等、新たな「利用者像」に対応した取り組みについても、個々のケースについての理解に基づく支援をさらに進めていきたいと考えています。

結果は来年3月になりますが、引き続きご協力をお願いいたします。

クラブ活動

9月21日(日)第3回目のクラブ活動を行いました。

相変わらず女性の参加は無く、常連の男性2名が参加しました。

常連ではありませんが、毎回緊張感を持ちつつ、真剣に先生の話に耳を傾けていました。

お花は、①ゆきやなぎ②菊③たけりんどうの3種。

茎に細い物があった時のみにみせる“下駄を履かせる”という方法を教わり、苦戦しながらも上手に出来ていました。

バランスを考えて2名とも秋らしくきれいな仕上がりで、玄関先を華やかにしてくれました。

生けるまでは毎回良いのですが、綺麗に維持するのは難しく①水の中にバクテリアが繁殖するので出来れば切り口を1センチ切る②スポイトなどで水を入れ替える③剣山ごとそっと出して水を入れ替えると助言を

受け、守った成果もありまだ暑さも残る中、長持ちさせることが出来たと
思います。

お茶はそれぞれが点てたものを提供し美味しく頂けたようです。

今回は11月23日(日)です。自分で点てたものを頂く予定です。

(浅田)



毎回熱心に教えてくれる先生



玄関前に作品を飾りました！

宿泊訓練

本年度の宿泊訓練は9月27日より2泊3日、北海道を目的地として実
施しています。

寮としては2006年(当時を知る利用者はゼロ 職員も1名のみ)以来の
北の大地です。ではその珍道中ぶりをお楽しみください。

宿泊訓練担当を長く担当した(在籍10年で9回)経験から、飛行機の
旅では、「飛行機が無事に飛び立てば仕事の9割は完了」と断言できます。

逆に言えば羽田で搭乗するまでが勝負！初日早朝、戦いの幕は切って落と
されました。幸い今年はおロービー集合時刻までに全員が起床して、準備を終
えていました。

羽田までは電車移動。時間的には最も確実ですが、乗り換えを挟む危険
なルートでもあります。

まず、成瀬駅の改札で点呼、ホームで点呼、電車に乗ってから点呼とま
さしく「点呼盛り」。

乗り換えは東神奈川駅から京急仲木戸駅へ。ここでも点呼点呼：あー
っ！そこっ！乗るのはその電車じゃない！1本後！あー危なかった。羽田
まではエアポート直通列車。これで一安心：って降りるのはその駅じゃな
い！それは国際線ターミナル！まだまだ気が抜けません。

国内線ターミナルに着いたらすぐに搭乗手続きと手荷物検査。危険物と
して没収される物で多いのは実はハサミだったりします。幸いこちらでは
だれも持っていないかったです(ただし、帰路の新千歳空港で救急箱の
中のハサミがチェックされています 御咎めなしでしたが)。

落ち着いたと思えば「トイレ行きたい」「タバコ吸いたい」「ジュース買
いたい」とご要望が続出。出発まで30分、しかしこういう時の30分が早
い。あれよあれよと言う間に機内へ。機内にて各自着席。くじ引き方式(ラ
ンダムにチケットを配布)を予告してあるので「えーこいつの隣かよ」「窓
際が良かった」など言いつつも以外とスムーズに：あれ？一人足りないだ
とオ？！ 出発5分前！：ま、間に合った。

担当者は緊張の糸が切れてヘナヘナ、しかし他の皆さんには離陸という
緊張の瞬間が！急加速に「やだやだ！もう無理！止めてー」と叫ぶ人、離
陸の瞬間に万歳して叫ぶ人、遠ざかる東京を写メで取りまくる人など様々
でした。かくして羽田を後にジェットは大空へ。

千歳までの約90分、やれやれと落ち着いたかと思えばもう到着です。ラ
ンディングギアがタッチダウンすると「おー!」「北海道だ!」「速いなあ
もう着いたの?」とこれも様々。

空港を一步出ると「寒ーい」という声がちらほら。というのもこの日は
早朝の東京も冷え込んで、出発時から寒いという声は聞かれていました。
無論日中でも東京の明け方並みですからさすがは北海道ですね。

現地は秋たけなわ(所によつては終盤)。木々の葉も色づき(北海道は紅
葉より黄葉が多いそうです)、なかなかまどが赤い実をつけていました。

最初に向かったのは羊が丘展望台近くのレストラン。

今回、7回の食事の機会のうち5回が食べ放題。通勤寮の王道とも言う
べきプランですが、その先鋒がこのジンギスカン食べ放題です。

朝食が早かった人も多く、鉄兜を模したと言われる山型の鉄鍋に一齐に襲
い掛かりました。

野菜と肉を乗せた鍋から次々と煙が立ち込めます。「美味い!」「それ、
生肉じゃない?」「でも焼きすぎると美味しくなくなってバスガイドさん言
つてたよ」などワイワイガヤガヤと食べていました。しかし時間が瞬く間
に経過「まだ食べられたのにー!」「あたしもう無理」と賑やかにバスに
戻ります。

バスは札幌ドーム(CSやスター選手の引退など地元はファイターズの話
題で持ちきり)、石狩湾やニツカウ牛スキー工場(当時朝ドラの放映開始
直前でした)を横目に次の目的地小樽へ。

現地ではグループ行動。スイーツの試食を渡り歩くチーム、オルゴール
の音色に耳を傾けるチーム、資料館を見学するチームなど様々です。旅行
会社の方の話では「小樽も変わりましたね 原宿みたいになってきた」そ
うです。確かに若者や外国人向けにアレンジされている感じですが。

小樽を後に、初日の宿、定山溪温泉へ。この定山溪温泉、私たちが訪れ
る少し前に全国放送の2時間サスペンスドラマの舞台となったそうで「こ
こで死体が発見されました」とガイドさんが教えてくれました。放送は
知っていたけど録画を失念したのが惜しまれます。

ホテルは立派な設備で皆大喜び。大浴場に何度も入る人もいればゲーセ
ンで遊ぶ人もありそれぞれに楽しんでいました。

夕食はこれまたバイキング。北海道の海の幸、山の幸が食べ放題です
か 気合が入ります。いくらかけ放題のご飯をほおぼる人も。ただ、地元の
人の話ではいくらはありきたりの食材でそれほど有難くはないそうです。

2日目の朝、殆ど全員自立起床して朝食バイキングのテーブルに。出来
るなら普段からそうしなさいよ!と職員は切歯扼腕。

バスは札幌市内を走ります。「時計台って小さいんだね」よく言われる
話ですよ。

トイレ休憩はテレビ塔の下。「真下から見ると大きいなあ」確かに圧倒
されます。

2日目の目的地は北海道開拓の村。開拓百周年を記念して整備された建
物の博物館とも言うべき公園です。園内には明治・大正期に建てられた店
舗や住宅、公館などが並びます。開拓者の出身県の建築意匠を採り入れて
いるものや、西洋の様式(特にアメリカの影響は強いようです)で建てら
れたものなど様々です。「わーダイズニールランドみたい」と言う人もあれ
ば。「幽霊とかいない?」と恐れる人も。確かに夜なら嫌かも。比較的年
配のチームからは「懐かしい」という声も。なるほどある年代より上の世
代が子供の頃にはこういった古い建造物がまだ健在で、身近に目にしたは
ずです。実際これらの建物が解体・移築されたのは多くが昭和50年代で、

最近…といっても30年以上昔かあ。のどかに走る馬車鉄道とすれ違ひながら着いたのは児童公園と言うべき広場。このあつた遊びに熱中する人が続出。竹馬や輪回し(車輪回し、リム回し、たが回しなど地方によつて言い方が異なりますが、棒で車輪を転がすアレです)など、昭和生まれはちよつとやると勘を取り戻しますが、平成生まれは悪戦苦闘。それでも上手にできる人もいたのには感心。学校や児童館などで教わつたそうです。いずれにせよ子供の頃の遊びは身体が覚えていますね。

昼食は園内の食堂にて「屯田兵定食」おにぎりにみそおでん、豚汁にバター風味の芋餅の素朴な組み合わせ。ところがこの芋餅が絶品!これを味わう為に入場料を払つても良いと思える味でした。しかしポリウムもかなりのもので、途中ギブアップ続発でした。さすがは北海道、数少ない「非バイキング」として侮れません。

時間の都合で半分しか見られませんが、この日の宿は層雲峡温泉。大雪山のもとであるこの地はこの日が紅葉のピーク。バスガイドさんの話ではピークは一瞬で、恐らく翌日には下降線とのこと。まだ陽も残つており、宿に入る前、少し先の銀河の滝・流星の滝まで足を伸ばします。表情豊かな断崖絶壁、赤や黄色の葉を縫うように流れる滝とそれが注がれる川の流れの美しさには圧倒されます…つて皆スマホで写真ばかりじゃなくてその眼にも焼き付けてね!

宿ではお楽しみ会の宴会。今回も旅行会社のご厚意で人気のカラオケが登場!「アニメが少ない」とぼやき節もありましたが、歌や即興のダンス(芝居?)もあり爆笑の連続でした。(そういえば仲居さんが若くてかわいかったのに記念写真希望がいなかったなあ)。

深酒する人もありバタバタしましたが、二日目の夜も更けていきます。

(山内)

宿泊訓練三日目の朝食もホテルでのバイキングでした。利用者さんの趣味嗜好はある程度の傾向があるようで、寿司を沢山食べる人、お肉を沢山食べる人、マクドナルドの様な洋食を好む人、デザートを楽しむ人等々、人それぞれに楽しんでいましたようです。私は食後のコーヒーと多少のデザートがあれば満足出来てしまうので(笑)、毎回程々の量で楽しんでおります。

その後はホテルを出て、一行は旭山動物園へ。名前は知ってましたが、行くのは勿論初めてです。園内、かなり区画整理をされてまして、動物を見て歩きやすいようになっておりました。最近スマホを持っていく利用者も増え、お気に入りの動物の前でカシャカシャと写メを撮っている人が多く見られました。キリンが1頭しかいなくて寂しいと思っていたら、来場者がキリンの顔と面会?出来るようにキリンの頭の高さと来場者が同じ目線になれるようにセッティングされており、あそこまでキリンの顔が目前に迫ってきたのは初めてでした。蛇足ですが、旭山動物園と言うと動物柄の電車が有名?で電車好きの息子を持つ親としては行く前からそういう情報はあつたのですが、残念ながら本物を見る事が出来なかつたです(お土産にプラレールは買って帰りました)。

昼食はファイブスターレストラン旭川店へ。こちらは豪華な店内で若干敷居が高そうな印象でしたが、メニューも豊富で、寿司は勿論、ラーメンも自分で作れると言う優良店(笑)。早速ラーメンを作ってみました。美味しかったです。一人が作っていると皆さん影響を受けるようで、周囲の数人の利用者さんがラーメン作りに励んでましたが、流石に初めてのラーメン作りな為、作り方のガイドンスは書かれてますが、解らずに我流で作ってしまった人も居たようで「作り方が解らなかつた」「まずかつた。薄かつた」等、色々な感想が耳に入ってきて面白かつたです。ここでは、

締めソフトクリームが食べられて満足でした(笑)。

昼食後は長時間の移動後、新千歳空港へ。私も移動中はつい仮眠してしまうのですが、利用者さんも旅の疲れか熟睡している人も多かったです。しかし、流石ベテランのガイドさんはめげずに？懸命に観光案内をして頂きました。有難うございます。

空港については移動中に食す夕食を購入しますが、慣れない場所もあり食事を買うのも一苦労でした。旅行と言うと駅弁を思い浮かべる人もいるかもしれませんが、今の利用者さんはコンビニでパンやおにぎりを買う方が気軽なのか、弁当を買う人は少数派で必死にコンビニを探す姿が印象的でした。

羽田についてからチャーターバスをお願いしていたので、そのまま通勤寮へ。大きなトラブルもなく、無事に終わり良かったです。同行職員の方、参加利用者の方々、お疲れさまでした。

(青木)



ジンギスカン食べ放題！



開拓村で竹馬にチャレンジ！



旭山動物園で北極熊がお出迎え！



宴会での一コマ



皆さん本当によく食べていました！



それぞれ18番を熱唱

閑話休題

①「onちゃんを知ってますか？」
テレビ北海道(テレビ朝日)のイメージキャラクターで目が「o」「n」
になっています。

当地の大人気番組「水曜どうでしょう」(全国的にも放送されていますが、なぜ関東だけは不遇でMXなどの独立局でしか流れない)への登場で不動の人気を得ています。

土産物店で職員が物色していると女子利用者が「なにこれ かわいい」「えー微妙」と様々な反応。このおんちゃんには仲間もいて「おうちちゃん」やら「okちゃん」「anちゃん」などなど…「この黒いやつ何?」「えーとなんだろう?」と首を傾げる面々に「それはnoちゃんって言っくんですよ」と教えてくれたのは地元の主婦らしき女性。なるほど道民はみんな知ってるんだと揃って納得。

②「北海道でコンビニと言えば」

全国大手もたくさん進出していますが、道民の支持を集めているのが「セイコーマート」。ウリは店内調理で、おにぎりや弁当はもとよりパンまで店舗で焼いています。これまた素朴な味。関東にも進出しているので立ち寄ってみては?

③「新聞」

北海道新聞と道新スポーツが地元紙。地域の情報満載で楽しいです。ちなみにスポーツ紙の方はバリバリのファイターズペーパーです。

(山内)

調理実習

10月5日に調理実習を行いました。

男性4名、女性1名の利用者が参加しました。メニューは栗ごはん、生野菜、タンンドリーチキンでした。加えて、今回は山形の郷土料理の芋煮を作りました。秋も深まり、沢山のキノコを入れた汁物です。

これから日本全国美味しい郷土料理も時々メニューに取り入れたいと思います。次回は12月7日(日)です。利用者からはキムチチャー

ハン、野菜炒め、オムレツ、杏仁豆腐がリクエストされました。参加お待ちしております。

(大場)



山形風の芋煮



おいしく出来ました!

クラシック音楽鑑賞会

去る十月十八日、三人の利用者と芝公園のホールまでトゥレヴァン・コンチェルトへ。トゥレヴァンとはフィンランド語で「将来」、「未来」を指す言葉で、テレビ朝日が主催する障害を持つ音楽家のための音楽会でした。出演はヴァイオリニスト川島成道さん、ピアノ・ヴァイオリンのデュオの「るあ」、ピアノ連弾の木村りさ・りえさん姉妹他でした。出演者の多くは、視覚障害をお持ちですが、プロの音楽家として活躍しておられます。曲目はタイスの瞑想曲、アイネ・クライネ・ナハトムジーク、映画音楽のムーリバー等で、聴衆を飽きさせないよう二回の休憩をはさみ、有名な小品が披露されました。中でも国際的に活躍される川島さんが奏する音

は群を抜いて素晴らしく、繊細な音を聴き洩らすまいと聴衆が心を一つにして耳を澄ませる雰囲気はコンサートならでは。参加した利用者は居眠りもせず真剣に耳を傾け音楽を堪能していました。曲に入り込み思わず手拍子を取ってしまう利用者も。クラシックの音楽会ではそれはご法度なのですが・・・ともあれ、すてきな音楽は心を浄化し、記憶の中で財産となるでしょう。このような機会を今後とも大切にしたいと願います。

今回は原宿ライオンズクラブのご招待を受けました。記してお礼申し上げます。
(植竹)

性講座

10月23日に今年度第一回目の性講座を実施しました。

今回は男性を三つのグループ、女性を二つのグループに分け、利用者全員で「性」について学びました。

男性Aグループは性感染症について、Bグループはアダルトビデオの嘘、Cグループは性病の恐怖...と、テーマはそれぞれ異なります。男性利用者の皆さん、間違った性の知識や、周りとの話を合わせるが故にいついつ知ったふりをしてしまうことも多いのではないのでしょうか。実はこの「なんとなく知っている」といったことが落とし穴であり、時に大きな失敗につながってしまうこともあります。

Aグループでは感染症の基礎から学び、妊娠までの過程や避妊具の説明をしました。自分だけでなく、相手の体を守るためにも絶対に必要不可欠な性の知識であり、とある利用者さんからは「性行為の際はお互いに責任を持たなくてはならないですね」との声もありました。

続けて、Bグループ。利用者さんの平均年齢は20歳前後。当然、異性への関心が強くなる年頃ですから、アダルトビデオを見ることに疑問はあり

ません。しかし、その内容をそのまま現実の出来事として捉えてしまう方もいます。作られた映像であることを改めて伝えると「エッ? そうなの?」といった声も。男女がより良く関係を保って交際するには体よりも気持ちの結びつきが重要です。

Cグループでは実際に男性用避妊具を見せて、何のために使用するかについて知り、そこから性感染症の種類や症状について学びました。安易に風俗店などに行ってしまうえば、性感染症のトラブルにつながってしまう恐れもあります。

女性Aグループでは『愛され女子の「しない」宣言』といったテキストを基に女性としてあり方について学びました。女性の体を目的に近寄る男性は信用できず、先に書いた通り、性行為だけではお互いの関係は深まりません。Bグループでは性についてどこまで知っているのかを確認しました。曖昧な知識では自分自身の体を守ることができません。

私自身も講座を終えた後、NHKのドキュメントで避妊具メーカーの社長が一言「避妊具を作り、開発しているなんて言えば笑われるかもしれませんが、私たちが社会を守っているのは確かです」と言っていたことを思い出しました。

この性講座を通じて、利用者の皆さんが少しでも性について知識が深まったのであれば幸いです。

(岩崎)

ソフトボール

10月25日に久々の練習を行なっています。

雨も前日の内にやんで、秋空の下、はつらつと守備練習や打撃練習に取り組みました。

次回は11月22日、年内最終です。

(山内)

テーブルマナー

10月25日(日)の19時より町田駅近くのホテルザ・エルシー町田にてテーブルマナーを実施しています。着る機会が少ない正装での参加でしたので、スーツやネクタイが無い人、革靴が見当たらない人等々、準備も慌ただしくなんとか間に合っただけです。

当日は会場に入るまではワイワイと賑やかな皆さんでしたが、着席して講師の方が壇上に立つと体が固まったように動きもせず、場内も静かになりました。講師の方は毎年依頼している方なので、皆さんの事は良くご存じでまずは緊張を解くために言葉遊び等から始まり、少し笑顔や会話がはじめてから開始となりました。講師の方が毎回仰るのは「食事は楽しく」との言葉です。食事を楽しむ為には会話も必要だと仰っていたので、それぞれのテーブルから少しずつ会話が聞こえ始め、食事が進むにつれ、各テーブルで楽しそうな会話が出ていました。

内容は、洋食のコースということで、前菜(お魚のテリーヌとプチ野菜のマリネ)から始まり、スープ(かぼちゃのクリームスープ)、魚(海の幸の盛合せのポアレ)、肉(牛ロース肉のロースト)、デザート(栗のブリュレとバニラアイス、コーヒールーカ紅茶)とほぼフルコースでした。普段の食事では、皆さんそれぞれ好き嫌いが多かったため、職員も頭を悩ますこともしばしばですが、雰囲気の良いので皆さん残さず食べていました。普段の食事風景では、体を横に向けたり、足を隣の椅子にかけたり、携帯電話を操作する等々、注意を促してもなかなか直らない方が多い中で、本日は背筋を伸ばして食事をする姿を見るとTPOが弁えられているのだと感じることもでき、これから色々な機会でも食事へ招待された時に今回のことが少しでも役に立ってくれればと思っております。

(壇谷)



食べるのが惜しいです…!



町田ホテルザエルシーにて

フクシアから

地域生活援助センター「フクシア」は、現在八王子長房町に設立されているGHサライ寮の運営を(社福)武蔵野会に移譲する方向で手続きを進めています。すでに当法人及び(社福)武蔵野会両法人理事会において承認されています。

GHサライ寮はつるかわ学園が初めて設立したGHであり、長い歴史があります。本来であれば運営継続が望ましいのですが、如何せん場所的に遠方であり緊急時の対応等に難があります。実際に東日本大震災のときは公共交通網・連絡網等すべて機能しないこともあり、センターとしては何もできなかったとの苦い経験があります。災害時などは特に利用者さんへの支援が必要なのに……。

近い将来に大地震は必ず起こるとの調査結果もあることから、緊急時にもすぐに対応出来る近くの法人に移譲を判断した訳です。

(社福)武蔵野会は大変大きな法人で歴史もあります。現在、24施設を

運営し、事業所としては51か所あり、延三千人の方が利用されています。職員数も千人を超え歴史的・規模・実績などすべての面で安心して移譲できる法人です。

フクシアとしても安心してお任せできると信じて疑いません。地震等の大災害はせめて移譲されるまで起こってほしくないと願っています。(勿論、永久に起こってほしくないのですが・・・)

(市川)

今後の予定

- ・ 11月22日(土) ソフトボール練習 マラソン練習
- ・ 11月23日(日) クラブ活動(お茶・お花)
- ・ 11月30日(日) 福祉マラソン(皇居)
- ・ 12月7日(日) 調理実習
- ・ 12月13日(土) 忘年会(ボウリング&東林バーベキュー)
- ・ 12月15日(月) 生活講座(キャッチセールスの断り方やSNSの危険性)
- ・ 1月25日(日) 新年会

編集後記

毎年この時期になると「もう11月か」といったセリフが出てしまいますね。これから気温が下がり、本格的な冬がやって参ります。ご自愛ください。
い。

(岩崎)